

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「調査研究事業」採択案件一覧（商工会議所分20件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【札幌版オプショナルツアーの構築事業】 札幌の観光は、今まで歴史的建造物などを見学する「見る観光」と、寿司、ラーメンなどを楽しむ「食べる観光」が主体であったが、札幌には自然を直接感じることができる体験施設が数多くある。こうした施設を活用した「体験する観光」を推進することによって、さらなる誘客を目指す。
2	恵庭商工会議所 (北海道)	【恵庭観光の「面」形成による道央圏観光拠点化プロジェクト】 個々のスポットによってもたらされる観光需要の「点」を、相互誘導・循環させることによって「面」に発展させ、滞在の長期化を図ることで「通過型都市」からの脱却を目指す。道央圏観光の拠点化、観光の地域産業化を実現するための調査を実施する。
3	大船渡商工会議所 (岩手県)	【ICTを活用した地域人材育成推進事業】 ICTを活用して、既存および将来の産業人材の質的向上、中高生のキャリア教育による早期からの意識づけを行うコミュニティビジネスを開発するための実証実験調査を行う。
4	新庄商工会議所 (山形県)	【「雪」を地域資源とした観光コンテンツ開発による誘客増の調査研究】 観光客の入込数が伸び悩む冬期に、国内有数の豪雪地帯という地域環境を活用した新たな観光コンテンツを掘り起こし、消費者ニーズにあった着地型観光のプランニングを調査研究する。
5	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【大人の学び旅・ジオパーク発祥地で始める「ジオ学」プロジェクト】 日本で初めて世界ジオパークに認定された「糸魚川世界ジオパーク」の個性である「学び」を活かした人と大地の関係を楽しむ旅を提案する。
6	富山商工会議所 (富山県)	【富山市連携事業「農・漁・交流・暮らし」着地型創造事業】 環境未来都市に選定された富山県において、温泉の排熱を利用し栽培する“えごま”を地域資源として育て、市内企業と連携して地域活性化のために何ができるのかを考えるとともに、新幹線開業を控え、地域資源を活かした観光客誘致策を調査研究する。
7	上田商工会議所 (長野県)	【必勝祈願！最強2大武将にあやかる観光ルート調査事業】 最強と言われる2大武将・真田幸村と上杉謙信の「共通項＝負けない強さ」を活かした観光ルートを構築する。
8	桐生商工会議所 (群馬県)	【桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発】 桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発を行う。桑やシルクに関連のある織物工房・染色工房・桑畑・養蚕農家・のこぎり屋根工場などを巡り、地域の絹織物文化に触れていただく体験型観光プログラムの開発を行う。
9	佐原商工会議所 (千葉県)	【伊能忠敬の地域経営手法を範にとる佐原地域ぐるみビジネス展開プロジェクト】 佐原の誇りである伊能忠敬が取り組んだ地域経営の手法に着眼し、佐原の地域づくりの柱となっている「江戸優り」のまちづくり観光を展開する指南書を作成するとともに、地域ぐるみビジネス展開の素地となるプラットフォームを形成する。
10	半田商工会議所 (愛知県)	【亀崎江戸文化の次世代継承を通じたまちづくり】 今年3月13日、文化庁はユネスコ無形文化遺産の候補として、全国18府県32件の祭りを一括提案すると発表した（提案名「山・鉾・屋台行事」「亀崎潮干祭の山車行事」を含む）。貴重な文化遺産を引き継ぎながら、まちづくりを目指す。
11	松阪商工会議所 (三重県)	【松阪商人と松阪木綿を活用した観光商品化調査事業】 地域資源である松阪商人、松阪木綿を活用して観光商品化（商品・着地型商品）の調査研究を行う。松阪木綿は、小物を中心に手織りと機械織り商品が販売されており、これをベースに着物等の観光化・商品化を進める。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
12	鳥羽商工会議所 (三重県)	【国際観光文化都市・鳥羽 - 御食国鳥羽のワンハンド和食&スイーツ】 世界遺産登録と菓子博伊勢開催という絶好の機会に、新商品を開発し、地域を活性化させる。
13	熊野商工会議所 (三重県)	【「熊野遺産」産業化プロジェクト】 過疎、高齢化と経済の低迷等、厳しい状況にある熊野市において、自然遺産・歴史文化遺産・産業遺産を結びつけて資産化し、観光と特産品のブランド確立による産業化と幅広い経済活動の波及を創造する。
14	彦根商工会議所 (滋賀県)	【ひこね新ブランド開発事業～「城＋光」・グルメ～】 ブランドイメージの確立、滞在型観光を目指すべく、事業検証（城＋光）と調査を実施。このほか、地域食材を使った新名物グルメを開発する。
15	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪京都琵琶湖を結ぶ大動脈・淀川の魅力を活かした新たな観光サービス】 大阪から京都、琵琶湖を結ぶ、かつての大動脈である「淀川」が有する自然的・歴史的・空間的魅力を活用した、新たな観光サービスを開発する。
16	出雲商工会議所 (島根県)	【綺麗になって縁結び「出雲“薬草×美活”プロジェクト」】 全国有数の観光地である出雲は、古代より薬草発祥の地。また島根県は、美肌日本一のデータもあることから、美容、美肌を求める女性に対し、薬草を活用した新たな観光商品・サービスなど地域ブランドを創出し、時間消費と滞在型観光を拡大促進する。
17	江津商工会議所 (島根県)	【再生可能エネルギー施設を核とした産業観光開発プロジェクト】 中国地方で最も小さい市で、再生エネルギー施設を核とした産業観光に取り組む。
18	下関商工会議所 (山口県)	【しものせき薬膳の開発・販売プロジェクト・調査研究事業】 地域課題であるブランド化および高齢化社会対応商品開発のために、下関の特産物等を使用した“しものせき薬膳”の開発・販売の計画立案に係る調査研究を行う。
19	柳井商工会議所 (山口県)	【サイクリングによる散策観光ルート資源の調査研究事業】 サイクリングによる観光ルートの調査研究および各観光ルートにおける観光素材の調査と発掘を行い、観光ルートごとの観光資源化の可能性を、着地型観光の視点から調査研究する。
20	豊後高田商工会議所 (大分県)	【「食」と「観光」の連携による豊後高田版全国展開システム開発事業】 ターゲットを見据えた付加価値の高い特産品開発と、食と観光の相乗効果を目指した観光情報の発信方法を確立させ、国東半島エリアで展開する豊の国千年ロマン観光圏構想の一泊したくなる地域ブランドづくりと全国展開システムの構築を目指す。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業1年目」採択案件一覧（商工会議所分15件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	小樽商工会議所 (北海道)	【「しりべしアグリツーリズム」による新たな後志周遊観光創出事業】 小樽発着のアグリツーリズムにより後志に点在する農産資源を結び、生産者と消費者等との交流や新メニューの開発を行い、周遊観光創出、食や観光産業の雇用創出、規格外等農産物活用を目指すとともに、将来のアグリツーリズムを担う人材の育成を図る。
2	富良野商工会議所 (北海道)	【讚（ほめれ）地域資源！商品開発プロジェクト】 取れ立ての旬の農畜産物を活用し、飲食店メニューを開発する。フードコーディネーターと連携し、レベルの高いメニュー開発を行う。事業終了翌年度から販売を行い、売上目標2.5億円のほか、新規創業者並びに新たな雇用の創出を行う。
3	久慈商工会議所 (岩手県)	【北三陸のじぇじぇじぇ！モニターツアー&魅力発信プロジェクト】 着地型モニターツアーを実施することにより地域観光資源の見直し、検証を行うほか、マスコミに影響のある雑誌への記事掲載など、地域の魅力を情報発信する。
4	茅野商工会議所 (長野県)	【縄文のところで繋ぐ地域の文化・自然・産業の再創造プロジェクト】 日本文化の源流である「縄文」が最も栄えた5,000年前に、日本の中心地であった八ヶ岳山麓で花開いた「縄文芸術」を現在にデザイン化し、最先端技術も含む地域の産業集積力で商品化を推進する。開発された商品を活用した観光事業の開発も目指す。
5	鹿沼商工会議所 (栃木県)	【豊富な森林資源を活用した「適材適所」で新たなオフィス空間を提案】 鹿沼固有の木材加工技術並びに金属加工技術と豊富な森林資源を活用して、オフィスや施設における内装・建具・家具等を集めた解体移設が可能なハイブリッドオフィス空間システムを開発する。
6	川越商工会議所 (埼玉県)	【川越唐棧Rebornプロジェクト】 かつて江戸っ子を魅了した川越唐棧の魅力を、現代に蘇らせるための新製品開発を行う。併せて、認知度の向上を図り、川越唐棧が川越市の特産品としての地位を確立するための事業展開を推進する。
7	市原商工会議所 (千葉県)	【市原市の歴史を活用した「いちはら国府ブランド」の確立】 農商工連携で生まれる商品を「いちはら国府ブランド」として販売を後押しする。特に女性向けにストーリー性のある商品とするため、市原市の歴史（国府、更級日記など）を古代ロマンとして活用した新商品開発を行う。
8	浜松商工会議所 (静岡県)	【浜松 闘将・家康プロジェクト～天下取り挑戦伝説～】 浜松時代(29～46才)の徳川家康公を、浜松市民が抱く三方ヶ原の戦いの「負」のイメージから、史実に基づいた天下取りに向け勇敢に挑戦する姿へと転換させ、「家康公ゆかりの地」としての潜在力を活用した商品・サービスの開発を行う。
9	東海商工会議所 (愛知県)	【地域活性化特産品開発プロジェクト「東海市の新たな特産品を作れ！」】 東海市は「鉄とランのまち」と言われるが、「東海市と言えば〇〇」といった突出した特産品が乏しい。特産品を市民参加型により創出し、市のブランド化、農業・商業の振興を目指す。
10	亀山商工会議所 (三重県)	【地域に経済循環が生まれる地元いいもの発見回遊コース】 調査研究事業で設定した回遊コースを、自由参加型・募集型に分け、また、ターゲット、季節、移動手段別コースを設定し、地域への来街者を増やし、宿泊、飲食、購買等経済活動を活性化させる。
11	三木商工会議所 (兵庫県)	【ウッドカヌー・アトリエ・ビレッジ・プロジェクト】 昨年度の調査研究事業に基づく実証実験と位置づけ、目的・難易度の異なる体験型イベント「ウッドカヌーアカデミー」を2回開催し、最終目標であるウッドカヌービルダーズスクール事業の課題抽出と解決策等を研究し、事業環境を整備する。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
12	府中商工会議所 (広島県)	<p>【府中味噌のセミオーダー型商品の開発による府中味噌の再ブランド化】 昨年度事業で調査研究したセミオーダー型味噌の商品開発を行い、府中味噌のブランドの認知と浸透を促すだけでなく、地域への相乗効果を図る。</p>
13	萩商工会議所 (山口県)	<p>【めざせ！萩魚食王国建国への道】 萩市の水産関連資源の観光資源化を図るため、GAP調査で得たニーズをもとに、「消費者にいかにかの魚を食べていただくか」という課題解決に向け、魚食イベント等の実施と、有名シェフとタイアップしてのモニタツアーおよび情報発信を行う。</p>
14	大洲商工会議所 (愛媛県)	<p>【大洲まるごと栗イズム～地元産の栗を活用した特産品づくり～】 生産量、味、品質ともに高いポテンシャルを持つ大洲産栗を活用し、商工業者と生産者がそれぞれのノウハウを融合させて、新たな特産品の開発に取り組むことにより、農商工連携を創出し、地域振興と地域経済の活性化を目指す。</p>
15	那覇商工会議所 (沖縄県)	<p>【琉球王朝時代からの伝統ある繁多川島豆腐を使った島豆腐麺の開発】 繁多川島豆腐を使った島豆腐麺開発の調査研究事業を踏まえ、本格的な試作品開発とその販路開拓事業を展開し、地域活性化および地域ブランディング、雇用機会の創出、第1次産業振興などの沖縄県振興に資する。</p>

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業2年目」採択案件一覧（商工会議所分8件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	稚内商工会議所 (北海道)	【映画「北のカナリアたち」のロケ地を活用した着地型観光創出事業】 映画「北のカナリアたち」のロケ地を北宗谷地域共通の地域資源と捉え、映像と日常の生業や食を絡めた着地型観光事業の創出を図り、観光産業を地域第一の基幹産業へと発展させ、地域振興を図る。
2	燕商工会議所 (新潟県)	【自動車・家電部品サプライヤーによる自社商品の開発】 自動車・家電などの部品サプライヤーがデザイナーのデザインにより自社製品を開発し、販路を開拓する。
3	高岡商工会議所 (富山県)	【北前船ゆかりの地「食のブランド“高岡昆布百選”プロジェクト】 高岡市における観光誘客の手段の一つとして、「歴史都市高岡」にふさわしい食の開発を進める。昨年度の“高岡昆布スイーツ”に続く“高岡昆布弁当”を開発し、北陸新幹線の開業とともに地域の活性化を目指す。
4	下諏訪商工会議所 (長野県)	【匠の技を活かした商店街観光プロジェクト】 地方都市としては珍しい空き店舗のない商店街を軸に、周辺観光エリアとの連携による商店街への観光交流人口の増加を目指す。商店街観光ガイドと商店街観光とをあわせて、全国に向けてPRを行う。
5	佐原商工会議所 (千葉県)	【江戸優り佐原の地域経済活性化事業】 江戸優り佐原に伝わる匠の技と農産物を活用して、商品開発と農村文化とを融合した旅行商品を開発する。
6	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【グルメとロケで地域を発信！蒲郡シティセールスプロジェクト】 明日の地域を担うワカモノ・バカモノ・ヨソモノ「ガマゴリ・ら」による、日本一のアサリを使ったご当地グルメ「ガマゴリ麺's クラム」の全国展開と、メディアを活用した情報発信による地域活性化を図る。
7	小浜商工会議所 (福井県)	【若狭小浜の“癒し”グルメ&観光発信プロジェクト】 昨年度に開発した特産品「若狭おばま鯖おでん」等を活用し、繰り返し訪れたい観光コンテンツを開発して交流人口の拡大を目指すとともに、事業継続性を実現する人材育成および組織づくりを実施する。
8	西条商工会議所 (愛媛県)	【西日本最高峰「石鎚山」～「つなぐ」「繋がる」くさりプロジェクト】 交流人口および現地消費金額の拡大を実現するために、西日本最高峰「石鎚山」を活用して、登山客や観光客を市街地へ回遊させ、滞在時間の増加を図る新たな仕掛けを開発する。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「調査研究事業」（一次締切追加分）採択案件一覧（商工会議所分2件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	富士吉田商工会議所 (山梨県)	<p>【エビデンスデータを活用した世界文化遺産・富士山の観光戦略策定】 世界文化遺産・富士山を富士吉田の商工業と文化・観光産業の活性化につなげるために、携帯電話GPS機能による位置情報や人びとの行動、動態、認識のエビデンスデータを整備して、包括的な観光戦略を構築する。</p>
2	日向商工会議所 (宮崎県)	<p>【耳川杉ブランド化推進事業】 細島港の重点港湾への選定、東九州高速道路の完成などにより、日向市内の交通インフラが大きく変貌しようとしている。こうした物流インフラを有効活用するために、杉材生産日本一の宮崎県で、その30%を地域内の耳川流域で生産しているという特徴を活かし、杉材を活用した新素材（集成材等）の商品開発を検討する。</p>

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業1年目」（一次締切追加分）採択案件一覧（商工会議所分8件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	酒田商工会議所 (山形県)	【「北前船交易で賑わった酒田」の美味しい土産品開発プロジェクト】 「北前船交易で賑わった酒田」と「傘福」をモチーフに、庄内米の米粉などの地元農産物を活用した土産品の試作品開発を行う。定番の土産品お菓子が無いといわれる同地の課題解決を図る。
2	新発田商工会議所 (新潟県)	【地域農産物を活用した物産・観光開発プロジェクト事業】 新発田市の多種多様な園芸作物の殆どが、生食の取引であり、地域の農産物を活用した加工品開発が課題となっている。一方で、四季を通じた観光開発も課題となっていることから、歴史・自然・温泉資源と「食」を連携させた着地型観光商品の開発を行う。
3	燕商工会議所 (新潟県)	【農商工連携事業～産学連携による「食×食道具」特産品開発】 食道具の産地という地域特性を活かし、将来的に「食×食道具」を抱き合わせた、「燕」そのものを売りにすることを目指す。調査事業を踏まえ、大学等研究機関の協力のもと、付加価値の高いブランドイメージを持たせた商品開発を進める。
4	新井商工会議所 (新潟県)	【北陸新幹線開通記念～妙高の「売れるお土産品開発事業」】 平成27年3月の北陸新幹線開通を記念とし、「妙高の売れるお土産品」を開発する。基本コンセプトは、妙高の素材を使用し、妙高らしさを表現できるもの。
5	加茂商工会議所 (新潟県)	【中世と幕末の加茂へタイムトリップ～時代を体感する観光ルート開発事業】 「中世の加茂山城址」「河井継之助」「北越戊辰戦争と加茂」をテーマとした観光ルート開発ならびに、関連する新メニュー開発を進める。親しみやすい散策マップ、ホームページを制作し情報発信を行うとともに、ボランティア観光ガイド育成にも取り組む。
6	七尾商工会議所 (石川県)	【「能登ふぐ」ブランド化に向けた商品開発事業】 北陸新幹線金沢開業を契機に、交流人口を呼び込むための食ブランド商品づくりを目指す。昨年度の調査研究事業で実施した消費者モニター調査の結果等を踏まえ、「能登ふぐ」を活用した商品（飲食メニュー、加工品等）開発を具体化させる。
7	塩尻商工会議所 (長野県)	【～宿場観光から街道観光へ～ゆっくり歩こう初期中山道】 初期中山道・中山道の宿場町という同地の歴史資源を活用した新たな観光ルートの開発を進める。宿場観光という点から、街道観光という面的な広がりにつなげていくための観光商品開発へと発展させていくための調査・研究を行う。
8	小田原箱根商工会議所 (神奈川県)	【箱根ジオパーク「食」の特産品開発、販路開拓事業】 広域連携による観光客増加を目的に、箱根町・小田原市・湯河原町・真鶴町が認定された「箱根ジオパーク」を切り口とした「食」（土産品・飲食）に特化した特産品開発、販路開拓事業に取り組む。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業2年目」（一次締切追加分）採択案件一覧（商工会議所分1件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	下田商工会議所 (静岡県)	【写真の祖・蓮杖プロジェクト“黒船来航から文明開化まで”】 観光地下田の知名度の向上を図り、同地への来訪を促すために、蓮杖ガイドツアー等を実施する。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「調査研究事業」（二次締切分）採択案件一覧（商工会議所分15件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	帯広商工会議所 (北海道)	【十勝産の製塩事業を創出して地域の農畜産物と融合した新規食品産業の振興】 唯一地元で調達できない十勝産しおを新たに生産することによって、十勝で生産されるすべての原材料で商品化を進めることが可能となる。十勝商品の付加価値を高めるために、十勝産しおを使った新商品の開発を検討する。
2	美幌商工会議所 (北海道)	【豚一頭を知りつくし・食べつくし・利用しつくすシステム構築事業】 美幌産豚肉の流通経路を確認しながら付加価値をつけて提供するための市場調査を行う。また「豚肉がおいしい町」としての相乗効果を図るため、部位別による特産品開発や他の産品と組み合わせた商品開発を進める。
3	苫小牧商工会議所 (北海道)	【者と物の交流・物流活性化「者と物が集まる面白苫小牧」創造事業】 北海道一といわれる物流基地としてのメリットを活かし、商店街活性化事業や新しい物流システム「者と物が集まり融合した賑わいと場づくりを創造する」調査事業を行い、物流拠点ならではの地域活性化を検討する。
4	むつ商工会議所 (青森県)	【むつ市の夜景「アゲハチョウ」調査研究事業】 滞在型周遊観光に夜景を結びつけるために、市民グループが提唱する発光源の増設や、総合的観光振興・まちおこしへの活用方法、さらには、観光客の反応はどうかなどを調査研究する。
5	酒田商工会議所 (山形県)	【鳥海山・飛島ジオパークネットワーク構築事業】 酒田市、遊佐町、秋田県にかほ市・由利本荘市の4市町で目指している、鳥海山と飛島の「日本ジオパーク」認定を踏まえ、ジオツーリズムを楽しむ場所として磨きあげ、交流人口の拡大を目指す。
6	下諏訪商工会議所 (長野県)	【食文化で特産品開発】 地域の食文化等を調査し、旬の食材や食べ方など食文化の切り口から地域発の特産品開発を模索し、新たな商品開発につなげる。
7	千曲商工会議所 (長野県)	【杏都「新グルメ紀行」開発】 千曲市の特色ある地域農産物、歴史的伝統遺産、恵まれた自然特性を活かした地域資源を発掘・再発見し、観光資源としてブランド化を図るための調査・研究を行う。特に「食」にスポットをあて、さらなる「杏都」の成長・発展を図る。
8	津島商工会議所 (愛知県)	【「尾張津島・歴史文化再発見」着地型観光事業】 津島の自然、歴史文化の固有の地域観光資源を調査研究し、それらの魅力を市民の手で磨きあげ、観光ニューツーリズム「着地型観光」につなげ、津島という「町」と「中小商業」を活性化させる。
9	四日市商工会議所 (三重県)	【四日市の特産品を活用した“新お土産物”開発プロジェクト】 四日市の特産品を活用し、ビジネス客に観光客としてリピートしてもらえるよう、新しい土産品を開発し、その取り組みを通じて交流人口の拡大による地域活性化につなげていく。
10	大和高田商工会議所 (奈良県)	【ユニバーサルデザインによるニット開発と共感マーケティング研究】 同市に集積するニット編み技術を活用し、流行に左右されない本質的にいいものをユニバーサルデザインの観点から制作する。感動・共感を醸成し、消費につなげていくためにはどのような方法が有効か、訴求方法の調査研究を行う。
11	鳥取商工会議所 (鳥取県)	【因幡街道ツーリズム研究開発事業】 鳥取、岡山、兵庫3県を結び、律令時代から中世、近世までの往来の歴史・文化を伝える因幡街道の資源を発掘、整理・分析する。街道観光への活用手法を検討するとともに、広域観光に取り組むための仕組み・体制の構築を目指す。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
12	竹原商工会議所 (広島県)	<p>【観光地としての竹原の全国的認知度向上事業】 今年のNHK連続テレビ小説「マッサン」の放送予定を踏まえ、特産品・土産品等の開発や東京芸大との交流を通して、地域の盛り上げと竹原の地名度向上を図る。</p>
13	東広島商工会議所 (広島県)	<p>【酒都西条酒蔵通り西側「暮らしゾーン」の交流創出の研究】 酒蔵通りの西側を「暮らしゾーン」と位置づけ、知的好奇心旺盛なアクティブシニアを対象に、交流創出の仕組みづくりの調査研究と地域住民および関係者の意識の醸成と総意形成を行う。</p>
14	廿日市商工会議所 (広島県)	<p>【廿日市産牡蠣を全国へ！地域連携プロジェクト】 地域資源である牡蠣をさらに有効活用し、全国をターゲットとした事業を展開する。地域連携を深めることでブランド力・商品力を高め、より効率的な情報発信・ブランド化を行うための調査研究を実施する。</p>
15	竹田商工会議所 (大分県)	<p>【アート・音楽・おもてなしの心でコミュニティビジネス】 熊本～大分を結ぶ中間点に位置する城下町竹田。この地域は秘められた観光資源と人材資源を活用したコミュニティビジネスを目指す。</p>

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業1年目」（二次締切分）採択案件一覧（商工会議所分5件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	小山商工会議所 (栃木県)	【桑のミクスプロジェクト 地域コミュニティ協業と匠の技のコラボレーション】 養蚕の盛んな地域であった小山市桑地区の桑畑を守り育てるために、生産農家と小規模事業者、社会福祉法人、小山市、小山商工会議所が連携して、桑を使用した特産品の開発を行い首都圏および観光客への販路開拓を進める。
2	多治見商工会議所 (岐阜県)	【美濃焼ブランディングプロジェクト～美濃のラーメンどんぶり】 産地内で多様に分化していった技術を結集させ、最新科学とコラボした理想のラーメンどんぶりの開発を進め、新しい美濃のスタイル・象徴としての産地イメージの強化・向上につなげる。
3	大阪商工会議所 (大阪府)	【衣・食・住のリノベーションで上質な空間と暮らしを提案する“おうちサロン”】 都心部の既存オフィスビルやマンションを衣・食・住トータルでリノベーションすることを通じて、上質な居住空間と暮らしを創出し、さらに上質なまちの形成へとつなげ、暮らし産業のさらなる集積を図る。
4	神戸商工会議所 (兵庫県)	【有馬の「温泉ブランド」を活用した観光開発事業】 有馬温泉を訪れる観光客拡大と消費促進を目的に、有馬温泉の新しいブランドイメージと魅力をわかりやすく伝えるためのツールの作成と効果的な情報発信による販路拡大を行うとともに、PRを担う人材育成等の事業に取り組む。
5	指宿商工会議所 (鹿児島県)	【指宿お土産商品ブランド「いぶすきコレクション」構築プロジェクト】 観光客をターゲットに、6次産業化・農商工連携による新商品の開発をはじめ、規約の策定や認定組織、推進組織の構築をともなった指宿市の土産品のブランド化を図る。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業2年目」（二次締切分）採択案件一覧（商工会議所分1件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	袋井商工会議所 (静岡県)	【袋井のクラウンメロンをベースにした健康特産品の開発】 クラウンメロンに含有されるGABA、注目の水素・BCAAを組み合わせ、健康をテーマに新たな特産品づくりを目指す。商品構成や販路開拓の中で、友好協定を結んだ釜石商工会議所との連携についても模索する。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「調査研究事業」（二次締切追加分）採択案件一覧（商工会議所分1件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	那覇商工会議所 (沖縄県)	【沖縄企業ヴァーチャルエキシビジョンサイト（VES）の創造開発】 沖縄県在住の企業は、その経済力及び地理的要因により、販路開拓や人材獲得等において他の都道府県企業から後塵を拝している。これらの課題を解決する手段として、VESの創造開発を研究し、沖縄県企業の活性化に寄与するかどうかを調査する。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「調査研究事業」（追加締切分）採択案件一覧（商工会議所分2件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	八千代商工会議所 (千葉県)	【偉人「染谷源右衛門」による着地型観光及び新商品の調査研究事業】 八千代市の偉人「染谷源右衛門」を地域資源とし、着地型観光及び新商品開発の調査研究を行う。
2	防府商工会議所 (山口県)	【学習意欲の高い女子を中心とした新！『産業観光』ルートの構築】 産業観光に興味を持つ「産業女子」をメインターゲットに、防府の新たな産業観光ルートを開発し、観光交流人口増大とまちの賑わい創出を目指す。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業1年目」（追加締切分）採択案件一覧（商工会議所分3件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	美幌商工会議所 (北海道)	【アスパラの切り下等風味・色・味を活かした加工技術と商品開発】 美幌町はアスパラガスの栽培が盛んで、約50戸の生産者が年間30t以上を生産している。すでに長期出荷体制が確立しており、年間を通して供給が可能である。そこで、この食材を地域資源として、出荷規格の長さに切り揃えられた調整残渣（切り下）部分の有効活用により、新商品の開発を進める。
2	岸和田商工会議所 (大阪府)	【岸和田生まれの人参「彩誉」を活用した特産品開発】 岸和田生まれのニンジン「彩誉」を活用した商品シリーズの開発。
3	鹿児島商工会議所 (鹿児島県)	【県産品振興と連携した観光客入込数拡大事業】 人口減少が進む中、鹿児島県の基幹産業である農業と観光を通じた、交流人口の拡大による地域活性化を進める。農業と観光の融合、農業の産業化の実現を目指し、県産品・特産品の販路拡大、入込客数の拡大を図る。

平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
「本体事業2年目」（追加締切分）採択案件一覧（商工会議所分1件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	小田原箱根商工会議所 (神奈川県)	【小田原スイーツプレミアム商品開発事業】 昨年、飲食店で14種の小田原スイーツプレミアムの開発し、飲食店での提供をスタート。しかし、顧客の評判が良く、テイクアウトの問合せが多く出たが、飲食店でテイクアウト対応ができないため、菓子製造販売店での開発が必要となった。